

PAT-NO: JP02002125471A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002125471 A

TITLE: FLOWERPOT COVER FOR PREVENTING
MISCHIEF

PUBN-DATE: May 8, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKADA, KENICHIRO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKADA KENICHIRO	N/A

APPL-NO: JP2000363827

APPL-DATE: October 25, 2000

INT-CL (IPC): A01G009/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a flowerpot cover for preventing infants or pets from making mischievous conducts on the soil in the flowerpot and preventing the flowerpot covered therewith from getting stuffy as well.

Best Available Copy

SOLUTION: This flowerpot cover is a purse-like one (1) attached onto the upper part of a foliage plant (4) planted in the flowerpot (5) and functions to protect the soil in the flowerpot (5) by pulling a drawstring (2) on the upper part of the cover; wherein the cover is attached to the flowerpot (5) by tightening it with an elastic cord (3) on the lower part of the cover, and the cover is made of an air-permeable and antimicrobial material to prevent the growth of fungi and/or bacteria and also to prevent the soil in the flowerpot covered therewith from getting stuffy. By the way, use of a flowerpot cover with such a cover as described above is also effective.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-125471

(P2002-125471A)

(43) 公開日 平成14年5月8日 (2002.5.8)

(51) IntCl⁷

A 01 G 9/02

識別記号

1 0 1

F I

A 01 G 9/02

テマコード (参考)

1 0 1 W 2 B 0 2 7

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全2頁)

(21) 出願番号 特願2000-363827(P2000-363827)

(22) 出願日 平成12年10月25日 (2000.10.25)

(71) 出願人 500548426

高田 賢一郎

東京都江東区千石3-1-24-811

(72) 発明者 高田 賢一郎

東京都江東区千石3-1-24-811

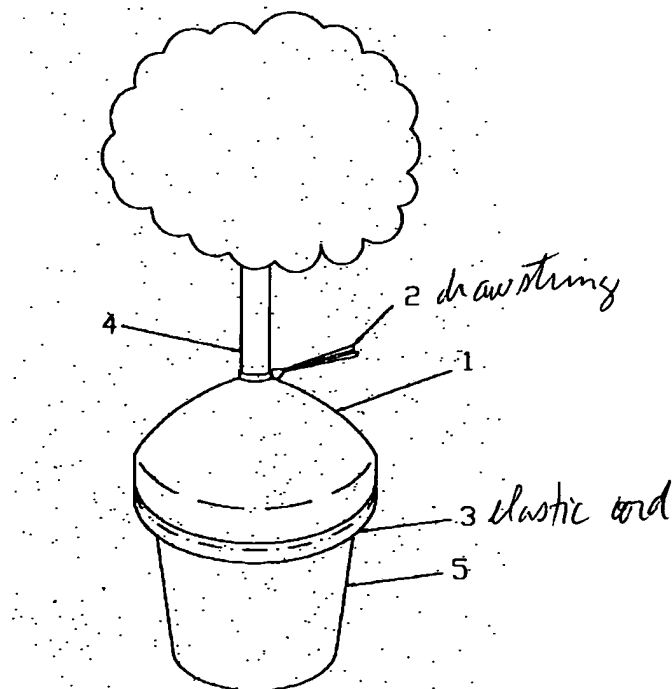
Fターム (参考) 2B027 NC08 ND01 QA02 QC11

(54) 【発明の名称】 イタズラ防止植木鉢カバー

(57) 【要約】

【課題】 本件は植木鉢の中の土を幼児やペットがイタズラをすることを防止するとともにカバーをかけた時の蒸れも防ぐ為に開発しようとするものである。

【解決手段】 植木鉢に植えられた観葉植物(4)の上部に巾着状のカバー(1)を取り付け巾着状のカバー上部の口紐(2)を引くことで植木鉢の土部が保護される。植鉢(5)への取付けはカバー下部のゴム紐(3)により締め付ける。さらに巾着状のカバーは通気性のある抗菌材質のものを使用カビや細菌類の発生を防ぐとともに、土の蒸れを防ぐという構造の本発明品を使用する。また、巾着状のカバー付き植木鉢カバーを使用することもある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 植木鉢の土を覆う通気性のある巾着状のカバー

【請求項2】 請求項1を取り付けた植木鉢カバー

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、観葉植物を植えた植木鉢のカバーについての発明品である。

【0002】

【従来の技術】 植木鉢を幼児やペットがイタズラをして土をばらまいてしまうのを防止する手段として表面に木片を引きつめたりしていたが幼児はその木片を口に入れてしまうことがあり、その為、幼児がいる家庭では室内に観葉植物を置くことを断念するか、鉢にビニールでカバーをしていたが土が蒸れるので植物が枯れたり大量の虫が発生してしまい不衛生となるなど対策に有効な手段は無かった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本案は植木鉢の中の土を幼児やペットがイタズラをすることを防止するとともにカバーをかけた時の蒸れも防ぐ為に開発しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 観葉植物の植えられた植木鉢に、巾着状のカバー（1）を被せた後に巾着状のカバー上部の口紐（2）を引くことで植木鉢の土部が保護

される。この巾着状のカバーは通気性のある抗菌材質のものを使用しカビや細菌類の発生を防ぐとともに、土の蒸れを防ぐという構造の本考案品を使用する。また、直接植木鉢カバーに請求項1の巾着状のカバーを取り付けて使用することも有効である。

【0005】

【発明の実施の形態】 本件は以上のような構造からなり、請求項1の巾着状のカバー（1）を直接植木鉢に取り付ける場合は、巾着状のカバーの下部のゴムを通した部分（3）を植木鉢の胴部に掛けて同じように上部の口紐（2）を植物の幹や茎部で締め付けて使用する。

【0006】 また、請求項2の巾着状のカバーが着いた植木鉢カバーを用いるときはその中に観葉植物の植えられた植木鉢を入れて巾着上部の口紐（3）を植物の幹や茎部で締め付ける。さらには巾着状のカバーは取り外しができる構造にすることで洗濯も可能となる。

【発明の効果】 この発明により幼児やペットがいる家庭でも安心して観葉植物を楽しむことが出来るようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明品の実施例を示す斜視図

【符号の説明】

1. 巾着状の植木鉢カバー
2. 巾着状カバーの上部口紐
3. 巾着状カバーの下部ゴム紐
4. 観葉植物
5. 植木鉢

【図1】

